

令和8年（2026年）3月13日

学校法人近畿大学
東大阪市立日新高等学校
近畿日本鉄道株式会社
東大阪市

近大附属高校と日新高校の生徒が近鉄沿線や周辺地域の魅力や産業を調査 調査ポスターを駅や市役所に展示

近畿大学附属高等学校（大阪府東大阪市、校長：丸本周生）と東大阪市立日新高等学校（校長：芦田じゅん）は、近畿日本鉄道株式会社（大阪府大阪市天王寺区、代表取締役社長：原恭、以下、近鉄）および東大阪市（市長：野田義和）の協力のもと、東大阪市内にある近鉄の駅やその周辺地域を調査し、駅周辺の魅力や産業、歴史的背景をポスターで表現するプロジェクトを実施しています。本プロジェクトは、生徒が生活と密接に関わる鉄道や東大阪市の特徴を学ぶことで、地域の課題について考えるきっかけとなることをめざしています。令和8年（2026年）3月24日（火）に近畿大学附属高等学校で生徒が制作したポスターの成果発表会を実施します。



令和7年（2025年）の発表会の様子

【本件のポイント】

- 東大阪市内の近鉄駅とその周辺地域を調査し、地域の魅力や産業・歴史をポスターで表現するプロジェクト
- 制作したポスターを発表会で審査し、優秀作品を近鉄八戸ノ里駅、東大阪市役所に展示
- 近畿大学附属高校と日新高校の生徒が東大阪市の特徴を学ぶ産官学連携の取り組み

【本件の内容】

近畿大学附属高等学校は、令和5年度（2023年度）から社会科のカリキュラム「地理総合」^{※1}の一環で、近鉄及び東大阪市の協力のもと、東大阪市内にある近鉄の駅やその周辺地域を調査し、駅周辺の魅力や産業、歴史的背景をポスターで表現するプロジェクトを実施しています。生徒が生活と密接に関わる鉄道や東大阪市の特徴を学ぶことで、地域の課題について考えるきっかけとなることをめざしています。今年度は東大阪市立日新高等学校が加わり、「鉄道がつなぐ今と昔」プロジェクトと題し、授業で取り組んできました。

成果発表会では、近畿大学附属高校と日新高校の生徒が成果ポスターの発表を行い、ポスターの中から「近鉄賞」と「東大阪市賞」を近鉄と東大阪市の担当者がそれぞれ10点ずつ選定します。各賞に選ばれたポスターは、近鉄奈良線八戸ノ里駅と東大阪市役所本庁舎に4月から展示します。さらに、近鉄が作品の中から2作品を選定し、デジタル駅スタンプ「エキタグ」^{※2}の新デザインとして6月から採用します。

なお、本プロジェクトはSDGsの「4.質の高い教育をみんなに」「8.働きがいも経済成長も」「11.住み続けられるまちづくりを」「17.パートナーシップで目標を達成しよう」の課題に貢献しています。

※1 地理的観点から「思考・判断・表現力」を培っていくこと、そして「主体的に多様な他者と協働して学ぶ」ことを目的とし、地域における課題探求型の学びが期待されているカリキュラム。

※2 駅に設置された専用のタグにスマートフォンをかざすと、デジタル版の「駅のスタンプ」を取得できるアプリサービス。

【東大阪市×近鉄×近高×日新高コラボ授業「鉄道がつなぐ今と昔」プロジェクト】

授 業 名：地理総合（令和7年度（2025年度）3学期）

実施場所：近畿大学附属高等学校及び東大阪市立日新高等学校

概 要：東大阪市内の近鉄大阪線・奈良線・けいはんな線の駅[※]についてチームに分かれ調査を行い、駅や周辺地域の特徴をまとめたポスターを制作

※布施、河内小阪、八戸ノ里、瓢箪山、長瀬、弥刀、荒本、東花園、石切、俊徳道 計10駅

対象生徒：近畿大学附属高等学校2年生（進学コース文系クラス、中高一貫プログレスコース）計393人

東大阪市立日新高等学校2年生（英語科、普通科）計160人

協 力：近畿日本鉄道株式会社、東大阪市

【成果発表会】

日 時：令和8年（2026年）3月24日（火）10：30～11：30

場 所：近畿大学附属高等学校 階段教室

（大阪府東大阪市若江西新町5-3-1、近鉄奈良線「八戸ノ里駅」から徒歩約20分）

参加者：近畿大学附属高等学校2年生

東大阪市立日新高等学校2年生

近畿日本鉄道株式会社 担当社員2人

東大阪市 担当職員1人

※一般の方はご参加いただけません。

【作品ポスター展示】

作品：制作ポスターの中から「近鉄賞」と「東大阪市賞」に選定されたそれぞれ10点

日程：近鉄賞／令和8年（2026年）4月6日（月）～6月30日（火）

東大阪市賞／令和8年（2026年）4月9日（木）～21日（火）

場所：近鉄賞／近鉄奈良線 八戸ノ里駅

東大阪市賞／東大阪市役所 22階市民ギャラリー

【エキタグの設置】

作品：近鉄が選定した2点

日程：令和8年（2026年）6月2日（火）以降当面の間

場所：選定された作品のテーマ駅